

平成 25 年 8 月 3 日

NPO 法人ふくてっく 第 12 回総会

次第・議案書

会員出席状況報告

議長選出

書記および議事録署名人の指名

1 号議案	平成 24 年度活動報告	資料 P1～P14
2 号議案	平成 24 年度決算報告	資料 P15～P17
3 号議案	同上に係る監査報告	資料 P18
4 号議案	平成 25 年度活動計画	資料 P19～P30
5 号議案	平成 25 年度予算計画	資料 P31～P32
6 号議案	役員改選の件	資料 P33

1号議案 平成24年度各部活動報告

理事長総括

■執行部に関して

24年度はこれまでの理事の役割・担当というシステムを廃したことで、各理事の動きが会員みなさんに見え難くなってしまったことは、反省しなければならないと感じています。

一方、“ふくてっく”の決め事を協議する場を「運営会議」とし、重要な会議と位置付けると共に、理事会での「理事（役員）だけで決める」形態をやめ、オープンな協議を目指した事は各会員がフラットな関係である“ふくてっく”としては良い事だったので25年度以降も継続したいと思います。

■部会に関して

東大阪部会、こむねっと事業部会を除き、他の部会は元気無く、会内部の活動に留まってしまい、部会の再編が急務である事を実感した年でありました。前出の2部会は専門性を有するため参加が限定されてしまう事もあり、他の会員が参加出来る「部」を再編する事を含め、今後は積極的なコラボも視野に入れて考えていきたいと思っています。

■会全体に関して

近年気になっている活動会員の偏りは更に進み、会員みんなに関わる活動が無くなって久しく経っています。会としては年に一度は「みんなで元気な笑顔で参加出来る活動（催し）」を実施出来ればと願っており、会員皆さんの協力では是非実現したいと思います。

事務局報告

■定例会記録

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
H24.7.7	住宅改修と連携	東大阪部会 清水麗子会員	
H24.8.4	第11回定期総会開催		
H24.9.1	生活保護制度とは/セーフティネットの正しい理解と活用方法	西田 和夫氏 尼崎市職員・社会福祉士	・木工部会は「木工活動」へ ・9/9バーベキュー親睦会開催
H24.10.6	改正介護保険/ 地域包括ケアと現状	柰 千秋氏 社会福祉士・一級建築士	
H24.11.10	子どもの精神的・心理的な 問題と現状	藤好氏・藤井氏 阪南病院看護師	・定款変更手続き完了 ・池島ふれあいまつり
H24.12.1	ものづくりの ユニバーサルデザイン	中島 巖氏 NPO 共用品研究会関西 理事	・会報 83号発行
H25.1.5	親睦会（学習会は無し）		・20周年記念事業アンケート実施
H25.2.2	高齢者住宅の現状と実例	米沢 なな子氏 (社)コミュニティネットワーク協会	
H25.3.2	市民後見人の活動と 権利擁護	藤原 一男氏 大阪市青年後見支援センター所長	・20周年記念事業アンケート集計 ・例会場を島型配置としグループミーティングを行う
H25.4.6	第三者として、 福祉現場への関わり	柰 千秋氏 NPO 日本福祉文化研究センター	・20周年記念協議実施 ・「ものづくりのつどい」を設ける
H25.5.11	高齢者・障がい者の 暮らしと地域	森 一彦氏 大阪市立大学大学院 教授	・「ものづくりのつどい」拠点候補地の見学
H25.6.1	更生保護会の活動について	北井 彩乃氏 天王寺区更生保護女性会 会長	・会報 84号発行

■総会記録

開催日時	場所	議事
H24.8.4 13:30～15:03	大阪市立社会福祉 センター 304号室	・H23年度活動報告・同決算 承認 ・H24年度活動計画・同予算 承認 ・部会再編の件 承認 ・定款変更の件 承認

■理事会記録

開催日時	場所	議事
H24.7.21 15:00～	関西照明器具工業協 同組合	・総会準備：23年度活動報告、24年度計画を確認
臨時 H25.1.5 10:12～12:33	大阪市立社会福祉 センター 104号室	・運営会議の位置づけ 再確認 ・20周年記念催しの運営方法について ・その他・認定NPO法人について ・年会費の見直しについて

■運営会議記録

開催日時	場所	議事
H24.9.1 10:00～12:00	大阪市立社会福祉セ ンター 305会議室	・木工活動について ・20周年記念事業について
H24.12.1 10:05～12:40	大阪市立社会福祉セ ンター 304会議室	・木工活動について ・東北関西ポジティブ生活文化交流祭の報告 ・20周年記念事業について ・住研部会の展望について ・運営会議の位置づけと開催主体について
H25.2.2 10:07～12:50	大阪市立社会福祉 センター 305号室	・1月臨時理事会決済事項の確認 ・H24年度上半期活動報告・同決算 ・H24年度下半期活動計画・同予算 ・H25年度執行部体制について
H25.5.11 10:30～12:00	大阪市立社会福祉 センター 305号室	・20周年記念事業の遂行体制について ・各事業、部会活動報告（H24下期の経過） ・H25年度執行部体制について

理事長総括にあるように、前年度の理事担当制を廃して企画・開発・事業・広報・親睦等を理事会全体で推進し、渉外については、こむねっと事業部に統合し、会として意味ある連携への整理と拡大に踏み込みました。会運営の開かれた議論の場として、運営会議も定着しています。

親睦企画として 9月 9日 バーベキューのつどい 12月 1日 恒例の忘年会
3月20日 蟹パーティ（OHANA 食堂）を催しています。

広報では、会報の発行（83・84号）、ホームページの改訂を行いました。

例会運営では、会員間のコミュニケーションを活性化させようと、テーブル配置をグループ化し、例会の最後にテーブル懇談の機会を設け、同じテーマでディスカッションを重ねました。

わきあいの意見交換とともに、テーブルマスターの発表もそれぞれ個性がにじみ、成功裏に進んでいます。学習会も、記録のとおり多岐に亘り、それぞれ意義深いテーマ企画を実施してきました。

さて、ふくてっくは平成5年7月に、有償ボランティア団体「福祉機器・住宅研究会」として発足し、その後「福祉と住環境を考える会」、NPO法人「ふくてっく」と名称変更しながら本年7月に満20年を迎えました。これにこたえて、周年記念事業に関する会員アンケートを実施し、20周年記念事業委員会が発足しました。20年の間に社会はすっかり変わっています。そしてふくてっくも・・・

時は着実に、そして無情に流れる。人も組織も老いる。我がふくてっくも、いろんな意味で曲がり角でしょう。まっすぐに進んでいけばよいわけではありません。もちろん、流されてはいけません。

淀んでいるのはどうでしょうか。淀みには淀みの世界もあるでしょう。それはそれで素晴らしい場です。ひたすら進むだけでは文化は育ちません。豊かな淀みもまた必要です。ただ、沈んでしまっただけではいけません。さて角を曲がれば、そこにどんな世界が広がるのでしょうか？ 勿論、曲がらないという選択肢もあります。過去は未来をうかがう鏡。20周年を契機にこれまでを振り返り、そしてこれからを考えることが必要です。事務局は、何のためにあるのか？ そんな疑問がふと頭をよぎるのも、会が何のためにあるのかという問いと“おもてうら”なのかもしれません。

事務局が主催する運営会議は、理事会のような最終決定機関ではなく、ひろく会員の意見を集め、当面の運営方針を協議する場です。一応の重きをなす合意ではありますが最終決定ではありません。そのために、都度議事録を配布していますので、会議に不参加でも意見は出してください。まるで、そんな会議はなかったような言動を個々の会員がすることはもつてのほかですが、動かさない決定事項と、無関与であるのも困ります。

1. 木工活動（有馬、長岩、松本、光川、曾我部、杉浦、小川、ほか）

木工活動 平成 24 年度事業報告（H24/7/1～H25/6/30）			
A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	池島まつり	11/23	子供達の木工体験（工具使用と創作）。（自由木工） 悪天候の中、多くの子供達が参加し、木工を体験出来た。 一方、反省も多く、今後の活動の教訓とする。 ・材料（パーツ）不足で「創作」が中途半端になる。 ・子供達が自力で製作出来る体制とサポート手法。 <u>（電動工具に頼り過ぎの面があり、手作業を促進する）</u>
	社会福祉法人 海の子学園 児童養護施設 池島寮		
	池島公園		

木工活動 平成 24 年度収益費用報告（H24/7/1～H25/6/30）				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	池島まつり	35,000	31,429	3,571
	木工機械倉庫賃料	0	16,955	△16,955
合計		35,000	48,384	△13,384

※A-1の収益内訳 海の子学園から 25,000円（活動費 20,000円+運搬費 5,000円）
 これに別途「風船バレー機材製作費」として得ていた謝金 10,000円を
 部会経理に合算したもの。

■H24 年度 活動打合せ、集会記録

- 10/16 木工活動継続方針協議（有馬、長岩、光川、小川）
- 10/24 「池島まつり」事前打合せ（池島寮担当者⇔有馬、長岩、光川、小川）
参加準備計画打合せ（有馬、長岩、光川、小川）
- 1/10 木工活動ロジック作成協議（有馬、長岩、松本、小川）

2. 福祉用具部会（古場会員 協議参加：杉浦・荻田）

福祉用具部会 平成 24 年度事業報告（H24/7/1～H25/6/30）	
A：事業活動	（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）：該当なし

福祉用具部会 H24 年度活動報告（H24/7/1～H25/6/30）			
B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	歩行補助器考察	24 年 7/16	歩行補助器試作品から機能を検討した。
	3 人		
	ATC ふくてつく事務局		
2	歩行補助器考察	24 年/8/27	歩行補助器の機能を検討した。
	3 人		
	ATC ふくてつく事務局		
3	福祉考察	24 年 9/17	シャープ創業者早川徳次展より製品の開発意義を検討した。
	3 人		
	ATC ふくてつく事務局		

福祉用具部会 平成 24 年度収支報告（H24/7/1～H25/6/30）	
収益費用の発生なし	

3. 住環境研究部会

住環境研究部会 平成24年度事業報告 (H24/7/1~H25/6/30)			
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	住宅改修	H12年 10月	スライド式扉のストリング、滑車の改修
	K邸		「10年ほど前に知的障害者の長男の居室の扉をふくてっくで設けていただきましたが滑車等がこわれて改修をお願いしたい」
	寝屋川市		当初、寝屋川在住の立溝会員に依頼、その後、中北会員と藤本木工の藤本氏が改修協力。無事完了。

住環境研究部会 H24年度活動報告 (H24/7/1~H25/6/30)			
B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	建物改修案募集	H24・ 9・15	奈良ホテル バリアフリー改修
	6名		
	社会福祉センター		
2	学習会	H25・ 1・26	「孤独死」について考える
	7名		
	社会福祉センター		
3	学習会	H25・ 4・27	「孤独死」その2
	6名		
	関西照明器具工業組合		
4	学習会	H25・ 5・25	「人間の寿命」について
	7名		
	関西照明器具工業組合		

住環境研究部会 平成24年度収支報告 (H24/7/1~H25/6/30)	
収支の発生なし	

4. 研修部会

研修部会 H24 年度活動報告 (H24/7/1～H25/6/30)			
B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	パソコン教室	8/4	フリートークで各自のパソコンに対する質疑応答。
	2名		各自のパソコン操作のトラブル解消。
	社会福祉センター1階		
2	パソコン教室	9/8	フリートークで各自のパソコンに対する質疑応答。
	2名		各自のパソコン操作のトラブル解消。
	社会福祉センター1階		
3	パソコン教室	2/9	ツイッターの操作の説明及び実習。
	3名		ツイッターの閲覧他。
	社会福祉センター1階		
4	パソコン教室	3/2	フリートークで各自のパソコンに対する質疑応答。
	2名		各自のパソコン操作のトラブル解消。
	社会福祉センター1階		

研修部会 平成 24 年度収支報告 (H24/7/1～H25/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
B-1	パソコン教室	参加費 500×3=1,500	日当其他(荏田氏) 1,000	500
合計		¥1,500	¥1,000	¥500

4回のパソコン教室を実施し、それぞれ2～3名の会員が参加した。

8/4、9/8 および 3/2 開催のパソコン教室は、フリートークとしたので参加費は徴収していない。

5. 東大阪部会

東大阪部会 平成 24 年度事業・活動報告 (H24/7/1～H25/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H24年 7/1～ H25年 6/30	高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。高齢者・障がい者の在宅生活の継続に寄与する共に、施工業者のスキルアップや地域福祉力の育成に寄与する。検証活動(建築士・セラピスト)・事前相談会・報告書作成・市民啓発資料作成・データ収集等実施
	東大阪市		H24年4/1～H25年3/31 検証実績/高齢者世帯59件・重度身体障がい者世帯6件 セラピスト検証活動 11件 事前相談会実績10件 H24年度報告書作成 7年間総括報告書作成 H25年度しおり・記入例及びQ&A集等・市民啓発パンフレット作成
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H24年 7/1～ H25年 6/30	住宅改修の質的向上を第一義とし、副次的に不適切な介護保険適用を抑制する。検証活動・申請書類等作成・事例検討会・データ収集等実施
	東大阪市		H24年4/1～H25年3/31 検証実績/事前審査168件 事後審査111件 H24年度報告書作成 H25年度手引書及び記入例作成
	東大阪市内		
3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	H24年 ・8/2 ・8/23 18:30～ 20:00	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、介護保険住宅改修制度に関する理解を深めるための研修会を、施工事業者登録説明会と同時に開催する。
	東大阪市		参加者：施工事業者 検証内容と施工計画書の記入については、業者への認識、求めている内容の周知がなされた。
	東大阪市庁舎		
4	東大阪市改造成講習会	H25年 ①3/14 ②3/28 18:30～ 20:00	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、東大阪市改造成助成制度に関する理解を深めるための講習会を開催する。
	東大阪市		参加者：①施工事業者 ②介護支援専門員 ①住宅改造成計画時の動作等の確認事項について理解を深めた。 ②図面の読み方・用語の意味について理解を深めた。
	東大阪市庁舎		
5	尼崎市介護保険住宅改修支援事業	H24年 7/31～ H25年 3/31	目的：健全な制度利用と介護支援専門員の資質向上への支援、行政及び地域包括支援センターとの協働体制の確立。
	尼崎市		介護支援専門員の資質の向上を図ることを目的とした講習会を施工事業者向け・介護支援専門員向け研修会の講師を務める。また、尼崎市を6ブロックに分けた講習会の講師を務める。
	尼崎市内		H25年度尼崎市介護保険住宅改修記入例を作成する。
6	東大阪地域連携プロジェクト		中止
7	大阪府下自治体バリアフリー施策実態調査		H25年度に延期
8	ワンポイントアドバイス冊子発行		H25年度に延期
9	出前講座		H25年度に延期

東大阪部会 平成 24 年度活動報告 (H24/7/1～H25/6/30)

B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	定例検討会	H24 年 7 月 ～H25 年 6 月第 3 土曜 日	東大阪活動における情報の共有と促進。課題と対策の検討。共通認識及びスキルの向上。 検証基準や技術手法を共有し、個人ではなくチームで取り組み適切、且つ、迅速な適正検証活動が推進されている。
	検証メンバー全員		
	ATC ふくてつく事務局・ 大阪市立社会福祉センター会 議室		

東大阪部会 平成 24 年度収支報告 (H24/7/1～H25/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1 A-4	東大阪市高齢者・重度障害者住宅 改造費助成制度適正検証事業	3,444,000	諸謝金 4,829,000 印刷製本費 3,180 通信運搬費 2,840 消耗品費 17,655 旅費交通費 450,915 会議費 3,200	1,095,776
A-2 A-3	東大阪市介護保険住宅改修適正 検査事業	2,841,300	租税公課 4,000 支払手数料 14,699	
A-5	尼崎市介護保険住宅改修支援事 業	306,600	雑費 11,635 【合計 5,496,124】	
	備品(三角スケール)販売	550	0	550
合計		6,592,450	5,496,124	1,096,326

16.6%

平成 24 年度東大阪部会活動報告

	検証記録/ 改造助成・介護住改		改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてつく 定例会発表	その他活動
	原則:木曜 太字是水曜	集積 送信	第1・3 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	ワンポイント アドバイス担当	
4月	5.12.19.26	川北	① 4/5	川北	4/12 4/26	4/21	川北	磯田	4/7 曾我部 「折れ戸につ いて」	東大阪市記入例納品
			② 4/19	小川	山本					
5月	10.17.24.31	大塚			5/10 5/24	5/19	川北	清水	5/12 磯田 「ハリアフリーと 税金+エコポ イントについて」	
			③ 5/17	鎌田	小川					
6月	7.14.21.28	山本	④ 6/7	後藤	6/14 6/28	6/16	清水	大塚	6/2 山本 「階段の手す りについて」	東大阪市改造助成、介 護住改 H23 年度報告書 納品
			⑤ 6/21	大橋	川北					
7月	5.12.19.26	磯田	⑥ 7/5	磯田	7/12 7/26	7/21	山本	川北	7/7 寺岡 「洗える量」	・7/12 東大阪市と協議 ・7/31 尼崎市書類調査
			⑦ 7/19	山本	小川					
8月	2.9.16.23.30	清水	⑧ 8/2	清水	8/9 8/23	8/18	川北	山本	8/4 発表無し	・8/2・23 介護住改研修 会
			⑨ 8/16	磯田	山本					
9月	6.13.20.27	鎌田	⑩ 9/6	川北	9/13 9/27	9/15	山本	小川	9/1 後藤 「見積につい て」	9/28 尼崎市事業者向け 研修会
			⑪ 9/20	小川	川北					
10月	4.11.18.25	春岡	⑫ 10/4	山本	10/11 10/25	10/20	川北	鎌田	10/6 大塚 「多機能トイ レの盲点」	・10/19 尼崎市ケアマネ向 け研修会
			⑬ 10/18	鎌田	小川					
11月	1.8.15.21.29	大橋	⑭ 11/1	春岡	11/8 11/21	11/17	山本	曾我部	11/10 小川 「ヒートショッ クについて」	11/8、22 尼崎市地域包 括支援センター研修会
			⑮ 11/15	寺岡	山本					
12月	6.13.20.27	曾我部	⑯ 12/6	曾我部	12/13 12/27	12/15	川北	寺岡	12/1 川北 「スロープに ついて」	12/13 尼崎市地域包 括支援センター研修会
			⑰ 12/20	清水	川北					
1月	10.17.24.31	小川			1/10 1/24	1/19	山本	春岡	1/5 発表無し	1/24 尼崎市地域包 括支援センター研修会
			⑱ 1/17	後藤	小川					
2月	7.14.21.28	寺岡	⑲ 2/7	川北	2/14 2/28	2/16	川北	大橋	2/2 春岡 「洋式便器選 択の視点」	2/14、21 尼崎市地域包 括支援センター研修会
					山本					
3月	7.14.21.28	後藤			3/14 3/28	3/16	山本	後藤	3/2 大橋 「FUNレスト テーブルの紹 介」	・3/14、28 改造助成研 修会 ・尼崎市記入例作成
					川北					

*「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

6. こむねっと事業部会

こむねっと事業部 平成24年度事業報告 (H24/7/1～H25/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		

■第三者評価事業

A1-1	福祉サービス第三者評価	前年度6月～ H25年3/19	すばる・トータルプランニング社第三者評価
A1-2	福祉サービス第三者評価	通年	大阪府地域福祉推進審議会 評価機関連絡会
	大阪府庁ほか		引き続き、大阪府の第三者評価事業振興に寄与

今年度は新たに評価調査者も増員され、前年度の奈良県手をつなぐ育成会に続き、すばる・トータルプランニング社の評価を通じて、第三者評価に取り組む体制がようやく整った。

H25年5月31日付けで、奈良県の認証評価機関に登録されている。

■SCPコンサルタント事業

A2	SCP研究会	H25年 4～6月	サービス・コンティニュー・プランニング事業部門の発足
	医療・福祉事業者		研究会立ち上げの準備作業および関係先への協力打診を進めた。
	関西広域連合域		予定協力者・機関： 関西電力、大阪瓦斯、三菱電機、室崎教授ほか

■建物定期検査報告事業

A3	建物定期検査報告	H24年8月 ～H25年5月	至善荘および福井寮の定期検査
	(社福) 至善会 および(医) 修真会		
	各事業所		

今年度をもって「特殊建築物定期検査報告」は部活動から外す。

検査機器を売却し、収益とした(本部会計雑収入)。

■社会連携事業

A4-1	社会連携① 有ボ連	毎月第3水曜	有ボ連参画団体間の情報交換・市民活動意識の共有
	有ボ連参加諸団体		交流関係を越えて→協働関係の構築を目指したが
	大阪市域(全国連携も)		その目処をつかめないまま、5/11ふくてつく運営会議で退会を決定。
A4-2	社会連携② あべのAICHAN	随時	あべの区内で活動する諸団体の連携
	阿倍野区社協ほか諸団体		市民の声(期待)を吸い上げて、連携活動の具体化を課題とするが、
	阿倍野区域		ハシモミックスの影響もあり区社協の活動がマヒし停滞。
A4-3	社会連携③ 真友会	随時	ICT活用による医療・福祉連携
	淀川区社協ほか諸団体		NPO創立(認証は今秋予定)
	淀川区域		市民・企業・行政のセクションを超えた連携の樹立をめざす。 活動を通じて課題抽出を研究課題とする事業も模索。
A4-4	社会連携④ 宅老連	随時	地域福祉をテーマとする多様な機関・個人の交流と連携
	宅老連参加諸団体		多方面の交流や有意義な研修を通じ、多様な視点(価値観)の導入と協働できる社会資源を求める。
	概ね大阪府下		6月より団体会員に登録。

旧「外部連携」を、本年度下半期以降こむねっと事業部内に取り込み「A4社会連携」に改めた。

■新規開拓事業

A5-1	福祉事業起業① プロジェクト立ち上げ支援	随時	いくつかの候補事業を具体化する
	具体のプロジェクト対象		こむねっと事業部のプロデュース機能を発現する
	不特定 臨機に対応		東大阪ばあとなあ：空き工場活用の障害者地域自立拠点 建物の安全性検査活動を終え、いよいよ計画の実施段階へ
A5-2	福祉事業起業② 障害者主導住環境整備支援 事業の推進	随時	障害者支援団体あるいはその障害当事者が主体となって、障害その他生き苦しさを有する市民の生活環境を整える活動を後方支援する事業
	不特定		具体的には、上記様々な障害者支援機関に働きかけて、その「自立生活支援事業」の重要な要素である生活環境正義にかかる、相談支援機能を当会が後方支援することによって、多様かつ広範囲におよぶ地域生活障害者の自立を確立することに寄与する。あわせて、そうした支援活動に取り組む障害当事者の就労機会を創設する。 本年度はその基本構想をまとめ、こむねっとのネットワークを駆使して多方面に協働を呼び掛けて確かな反応と評価を得た。 既に働きかけた機関等： ・青葉園（西宮）→園より青葉福祉会に働きかけ ・大阪重症心身障害児者を支える会（阿倍野・東住吉・住吉区） ・中部障害者解放センター（東住吉区相談支援センター） ・ほほんがぼん（茨木市） ・ばあとなあ（東大阪市） ・夢空間（住之江区）→住之江区自立支援協議会の取組へ ・奈良県手をつなぐ育成会（奈良県） 今後働きかける予定 ・草の根共生会（東大阪市） ・障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議（大阪市） ・夢宙センター（大阪市住之江区） その他

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）			
	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B1-1	8月部会	8/4	①スバル・トータルプランニング社 評価計画(行程・担当構成)
	12名		②社会的養護施設概要について資料学習
B1-2	コア会議	1/5	こむねっと事業部方針2013（4つのかぜのミッション）
	11名		各事業について、目的・理念・方針を確認
B1-3	1月臨時部会	1/19	スバル・トータルプランニング社 評価決定会議(1回目)
			評価調査参加メンバーによる評価検討
B1-4	2月臨時部会	2/9	スバル・トータルプランニング社 評価決定会議(2回目)
B1-5	2月部会	2/6	スバル・トータルプランニング社 評価決定会議(最終)
B1-6	3月部会	3/16 3/23	①全社協主催継続研修の報告ほか
	関西照明器具協同組合 社会福祉センター104		②スバル社 クライアント説明の報告および振り返り ③新規取組構想と事業部体制、外部への発信資料改訂について
B1-7	5月部会	5/18	24年度活動の総括と今後の方針
			事業決算見込みの報告と確認 各種新規事業の経緯報告

こむねつと事業部会（社会連携含む）平成24年度収支報告（H24/7/1～H25/6/30）

事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金	
A-1	社会連携事業	¥0	¥10,000		-10,000
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			雑費（印刷等）	0	
A-2	福祉サービス第三者評価事業 推進委員会・連絡会・幹事会	¥0	¥0		0
			旅費交通費	0	
A-3	評価調査者養成・継続研修参加費 ↓B-2に計上				
A-4	福祉サービス第三者評価事業 評価活動 （スバル・トータルプランニング社）	¥472,500	¥426,000		46,500
			謝金（評価活動）	327,252	
			同上源泉税	26,748	
			旅費・交通費	18,000	
A-5	建物定期検査報告業務（2件）	¥177,000	¥100,920		76,080
			謝金（検査活動）	87,000	
			旅費・交通費	2,920	
			支払手数料	9,000	
			雑費	2,000	
B-1	こむねつと事業部会総務	¥0	¥11,765		-11,765
			通信運搬費	160	
			会議費	9,400	
			支払手数料	2,205	
B-2	福祉サービス第三者評価事業 活動再開体制づくり	¥0	¥87,400		-87,400
			研修費補助	87,400	
B-3	建物定期検査報告業務 調査機器売却益（本部会計）				
B-4	シリーズ学習	¥0	¥0		0
B-5	新規事業開拓経費	¥0	¥0		0
合計		¥649,500	¥636,085		13,415
			活動費・謝金	414,252	
			同上源泉税	26,748	
			旅費交通費	20,920	
			通信運搬費	160	
			消耗品費	0	
			租税公課	0	
			会議費	9,400	
			研修費	87,400	
			支払手数料	11,205	
			交際費	0	
			諸会費	10,000	
			雑費	56,000	

第三者評価事業については、今季新たな評価調査者の養成研修および継続研修の受講を奨励し、研修費用の支出が大きくなりましたので、単独事業部門では赤字となりましたが、建物定期検査報告業務による収益がカバーして、部全体としてはわずかながら黒字となりました。

ロジックモデル短期目標の成果検証と中期計画の見直し

大項目		成果と取組の要約 (H24.3 版)	短期成果検証&中期計画の見直し
事業部体制	短期	外部連携を拡充して新たな CB 機能を強化する。HP を通じて有効かつ幅広い情報発信に努め、活動領域と強調者の輪を拡大する。	外部連携の拡充は評価できるほどにはないが、徐々に進展している。 HP を通じた情報発信はまだ未着手と言ってよいが、個人的な厚誼による連携拡大は順調に進んでいる。有ボ連への法人参加は終了とし、宅老連に団体加盟した。
	中期	団塊世代の活動の場を創設し活発なメンバーを増強する。①マインドを興し②活動を活性化して認定 NPO 法人格取得環境を整える。	団塊世代に訴え、その参加を得るには、単に友好の輪を広げる手法では成果を期待できない。 活動の目的、方針を明確に示し、同時に活動組織の仕組みを判りやすく情宣する必要がある。
大阪府地域福祉審議会・評価機関連絡会	短期	連絡会機能のさらなる拡大と大阪府審議会の協働体制を確立し、第三者評価事業の広域化を拓く	社会的養護施設の受審義務化や全国的事業展開の制度化を契機として、また府県単位の評価者養成の限界を背景に事業の広域化の機運は高まっている。奈良県ではいち早くその流れに沿って門戸を開かれ、当会も機関認証を得た。
	中期	評価機関・評価者の資質向上。福祉事業者や市民の理解を得て受審実績を 22 年度比 5 倍以上に振興	左記計画を維持・推進する。
福祉サービス第三者評価	短期	たかどりの評価を通じ、評価機関の体制を確立し、スバル社の評価に取り組む。児童分野を評価対象に加える。	評価の取組は計画どおりに遂行し、その内容においても想定以上の成果に満足できた。 児童分野の認証手続きは未着手。→25 年度実施
	中期	評価者の増員。「あ」「い」資格の厳格化。年 4~6 件の受注体制を整え、収支均衡(黒字化)を図る。	大阪、とりわけ当会の評価者資格基準は甘く、今後事業の広域化を実現する上で、また事業者や市民の信任を得るためにも厳格化が避けられない。 資格見直しに率先して取り組む。 受注の拡大については、新規受審を開拓するとともに、受審事業所の継続受審を振興し、年間受注件数を遡増する。
建物定期検査 →コンサル事業へ転身	短期	医療・福祉施設の健全維持課題研究部の発足。コンサル業務の成立を目指す。	単独の建物検査業務は部会活動から外し、SCP 研究会設立を起案
	中期	検査および保全コンサルの実績に基づき本格的な業務体制に。外部協賛企業とのグループ形成を構築し実務を展開する。	H25 年度には外部連携体制も整え、実務段階に入る。
青空共生ケア構想	短期	福島区ななどこ庵を拠点とする「青空共生ケア構想」に助成金を得て活動を発展	残念ながら左記の助成金は採択されず、その後、同庵を拠点とする取組は低迷。替わって淀川区 F 医院、西宮 A 園に構想実現性高まる。
	中期	継続した助成事業に育成して協働クラウドの拡大と他地域への波及を目指す	いずれも H27 年春の拠点整備に向けて実働に移る。
障害者による障害者のための住環境整備支援事業 ※個人の住宅に限定しない。日中活動など地域生活全般の環境整備をテーマとする。	短期	障害者就労支援事業所との協働で、住環境改善クリエイターを目指す障害者のサポートに取り組む。その成果を発信して同調者を拡大	④住環境整備に関して複数の機関に計画打診 ⑤既存社会資源活用による地域生活環境整備コンサル業務の起業
	中期	行政・企業・学識者・市民団体等々の連携を拡充して、支援体制のシステム化に取り組む。有力な CB として確立。	④前項共生ケア拠点や各地の相談支援機関の重要機能に育成する。西宮 A 園での具体化が現実味を帯びている。 ⑤こむねっと部会の収益事業とするとともに、協働人材育成→チームとしての事業

ロジックモデルは定期的に評価・検証 (Check) & 見直し (Action) することにより、PDCA サイクルを機能させてゆきます。

7. 20周年記念事業検討委員会

ふくてっく発足 20 周年記念事業検討委員会			
平成 24 年度事業・活動報告 (H24/7/1～H25/6/30)			
A：事業活動			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者		
	場所		
1	ふくてっく発足 20 周年に関するアンケート調査	H25 年 1 月末～2 月上旬	ふくてっく発足 20 周年事業に会員の声を反映し、事業目的や手段の方向性を検討するために実施する。正会員全員から回答があった。
2	第 1 回検討委員会	H25 年 4 月 6 日 12:00～ 13:20	20 周年に関するアンケート集計・報告を基に、20 周年記念期間を 1 年に定め、その中で「ふくてっくを考える」をキーワードに事業を検討する。
	畑・清水・小川・佐久川		
	大阪市立社会福祉センター 3 階		
3	第 2 回検討委員会	H25 年 4 月 27 日 14:00 ～ 15:00	「ふくてっくを考える」をキーワードに事業を検討する。
	有馬、杉浦、畑、清水、小川、 佐久川、曾我部		
	大阪市ボランティア市民活動センター/ 交流スペース		
4	第 3 回検討委員会	H25 年 6 月 1 日 12:00～ 13:00	記念事業期間、記念事業の方針、記念事業の取組の確認をおこない、6 月定例会にて会員へ提案をおこなう。
	有馬・杉浦・畑・小川・中北・ 佐久川・曾我部・清水		
	大阪市立社会福祉センター 3 階		
5	第 4 回検討委員会	H25 年 6 月 15 日 12:20～ 13:10	6 月定例会における会員の同意内容の再確認をおこない、今後とタイムスケジュール・活動について検討する。
	杉浦・小川・佐久川・曾我部・ 清水		
	大阪市ボランティア市民活動センター/ 交流スペース		

H25 年度活動計画

H25 年 7 月 1 日～H26 年 6 月 30 日までを「ふくてっく発足 20 周年記念事業期間」と定め、ふくてっくの 20 年の活動を振り返り、本会の活動意義を再認識し、社会貢献活動を実施する。検討委員会を中心となり、会員の主体性と自発性を尊重し、各作業や活動を実現していく。

2号議案 平成24年度決算報告

特定非営利活動法人ふくてっく

活動計算書

平成24年7月1日から平成25年6月30日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	380,000		
通信会員受取会費	1,000		
学生会員受取会費	0		
例会参加受取会費	2,000	383,000	
2. 受取寄付金		40,000	
3. 事業収益			
住環境研究	0		
木工	35,000		
研修	1,500		
福祉用具	0		
こむねっと	649,500		
東大阪	6,592,450	7,278,450	
4. その他収益			
受取利息	250		
雑収入	31,754	32,004	
経常収益計			7,733,454
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	18,900		
人件費計	18,900		
(2) その他経費			
材料費	5,529		
諸謝金	5,284,920		
地代家賃	18,955		
印刷製本費	3,180		
通信運搬費	3,350		
消耗品費	176,655		
旅費交通費	457,915		
会議費	12,600		
租税公課	4,000		
諸会費	10,000		
研修費	87,400		
支払手数料	16,904		
雑費	83,635		
その他経費計	6,163,043		
事業費計		6,181,943	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	115,200		
人件費計	115,200		
(2) その他経費			
諸謝金	66,718		
地代家賃	400,812		
印刷製本費	2,845		
通信運搬費	55,065		
消耗品費	11,813		
旅費交通費	32,840		
会議費	55,310		
保険料	39,200		
租税公課	70,950		
諸会費	15,000		
支払手数料	30,709		
減価償却費	4,274		
寄付金	0		
雑費	0		
その他経費計	785,536		
管理費計		900,736	
経常費用計			7,082,679
当期経常増減額			650,775
当期正味財産増減額			650,775
前期繰越正味財産額			4,908,998
次期繰越正味財産額			5,559,773

貸借対照表
平成25年6月30日

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,764,580		
流動資産合計		5,764,580	
2. 固定資産			
什器備品	5,281		
保証金	137,412		
固定資産合計		142,693	
資産の部合計			5,907,273
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	347,500		
流動負債合計		347,500	
負債の部合計			347,500
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,908,998	
当期正味財産増減額		650,775	
正味財産の部合計			5,559,773
負債・正味財産の部合計			5,907,273

財産目録
平成25年6月30日

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	63,862		
三菱東京UFJ銀行梅田支店	4,684,614		
ゆうちょ銀行	946,104		
郵便振替口座	70,000		
流動資産合計		5,764,580	
2. 固定資産			
什器備品	5,281		
保証金	137,412		
固定資産合計		142,693	
資産の部合計			5,907,273
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	347,500		
流動負債合計		347,500	
負債の部合計			347,500
正味財産			5,559,773

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税は税込経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

(単位:円)

	住環境研究	木工	研修	こむねつと	東大阪	事業費計	管理費	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	383,000	383,000
2. 受取寄付金						0	40,000	40,000
3. 事業収益	0	35,000	1,500	649,500	6,592,450	7,278,450		7,278,450
4. その他収益						0	32,004	32,004
経常収益計	0	35,000	1,500	649,500	6,592,450	7,278,450	455,004	7,733,454
II 経常費用								
1. 人件費								
給料手当		18,900				18,900	115,200	134,100
人件費計	0	18,900	0	0	0	18,900	115,200	134,100
2. その他経費								
材料費		5,529				5,529		5,529
業務委託費						0		0
諸謝金			1,000	454,920	4,829,000	5,284,920	66,718	5,351,638
地代家賃		16,955				16,955	400,812	417,767
印刷製本費					3,180	3,180	2,845	6,025
通信運搬費		350		160	2,840	3,350	55,065	58,415
消耗品費					176,655	176,655	11,813	188,468
旅費交通費		7,000			450,915	457,915	32,840	490,755
会議費				9,400	3,200	12,600	55,310	67,910
保険料					4,000	4,000	39,200	43,200
租税公課						0	70,950	70,950
諸会費				10,000		10,000	15,000	25,000
研修費				87,400		87,400		87,400
支払手数料				2,205	14,699	16,904	30,709	47,613
減価償却費						0	4,274	4,274
寄付金						0		0
雑費				72,000	11,635	83,635		83,635
その他経費計	0	29,834	1,000	636,085	5,496,124	6,163,043	785,536	6,948,579
経常費用計	0	48,734	1,000	636,085	5,496,124	6,181,943	900,736	7,082,679
当期経常増減額	0	-13,734	500	13,415	1,096,326	1,096,507	-445,732	650,775

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,590	422,309	5,281
合計	427,590	0	0	427,590	422,309	5,281

パソコン1台、プロジェクター1台

監 査 報 告 書

平成 25 年 8 月 3 日

特定非営利活動法人 ふくてっく

理事長 小川 忠雄 様

監 事 秋岡 安



監 事 稲住 泰広



特定非営利活動法人ふくてっく 定款第 34 条に基づき、平成 24 年度における
監事監査を平成 25 年 7 月 13 日に実施したところ、次の通りであったので報告しま
す。

- | | |
|------------|--------|
| ・法人の財産管理状況 | 特に問題なし |
| ・法人の会計状況 | 特に問題なし |
| ・その他の状況 | 特に問題なし |

4号議案 平成25年度各部活動計画

1. 木工活動方針（小川会員）

昨年、倉庫を解約し電動工具初め手元工具の大半を処分し、維持経費の削減を図りました。それは今後の木工活動を見直す上で岐路に立たされる結果となり、24年度後半からは木工に拘らない「ものづくり」についての集会を始めました。

今後は、広い視野をもち「ものづくり」について色々な可能性を追求し、基本的にふくてつく会員全員参加で取組んでいく事とします。

上記活動趣旨から、木工を含めたあらゆる「ものづくり」に取り組んでいく方針であることから、今後は活動名も「木工活動」から「ものづくり活動」としたいと考えています。

木工活動 平成25年度活動計画 (H25/7/1~H26/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1	池島まつり	11/23)	子供達の木工道具体験と創作取組み 普段「危険」とされる道具の安全な使い方を知り、 自分で創作出来る事を知ってもらう(資源を大切に)。
	社会福祉法人海の子学園		
	池島公園		
2	大阪市こどもカーニバル	4月下旬 (未定)	「木」とのふれあい 木工体験(自由木工)
	大阪ボランティア情報S		
	大阪城公園		

木工活動 平成25年度予算 (H25/7/1~H26/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	池島まつり	25,000	22,500	2,500
A-2	大阪市こどもカーニバル	0	10,000	△10,000
合計		25,000	32,500	△7,500

2. 住環境研究部会（畑会員 曾我部会員 佐久川会員）

住環境研究部会 H25 年度活動計画 (H25/7/1～H26/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数・場所		成果
1	学習会	7月27日	「老人ホームの実態」講師：郷戸敦子氏
2	学習会	8月	「老化予防」
3	学習会	9月	「介護保険制度」
4	学習会	10月	「介護地獄の実態」
5	学習会	11月	「尊厳死」
6	学習会	12月	「高齢者医療」

住環境研究部会 平成 25 年度収支計画 (H25/7～H26/6)	
収支予定なし	

3. 研修部会（鎌田会員）

研修部会 平成 25 年度活動計画 (H25/7/1～H26/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数 場所		成果
B-1	パソコン教室	12～6月 第1土曜	ワード、エクセルの操作その他個々の要望に対応。
	4名 大阪市社協一階		ワード、エクセルでの文章作成他。

研修部会 平成 25 年度予算計画 (H25/7/1～H26/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
B-1	パソコン教室	¥2,000×6回	¥1,500×6回	500×6回
			諸謝礼金 1,500	
合計		¥12,000	¥9,000	¥3,000

4. 部会再編にかかる理事会発議 (小川理事長)

5. 東大阪部会（清水会員）

東大阪部会 平成 25 年度事業計画（H25/7/1～H26/6/30）			
A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H25 年 7/1～ H26 年 6/30	目的：高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。
	東大阪市		質の良い住環境改善と、高齢者・障がい者の在宅生活の継続。
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H25 年 7/1～ H26 年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。
	東大阪市		介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。
	東大阪市内		
3	尼崎市介護保険住宅改修支援事業	H25 年度 9/1～3/31 予定	目的：健全な制度利用と介護支援専門員の資質向上への支援、行政及び地域包括支援センターとの協働体制の確立。
	尼崎市		介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。
	尼崎市内		
4	大阪府下自治体バリアフリー施策実態調査	H25 年 9/1 以降 予定	目的：大阪府下自治体における高齢者・障がい者の住宅改造助成制度や介護保険住宅改修の諸手続きを調査し、バリアフリー施策の活性化に生かす。また、本制度申請者の適切、且つ、負担の軽減に寄与する。
	大阪府下自治体		東大阪市改造助成制度及び介護保険住宅改修の迅速な手続き・システムの改善、大阪府下住宅改修事業等が活性化かする。
	大阪府下		
5	出前講座	H25 年 9/1 以降 予定	目的：住環境改善のための地域福祉力の育成
	大阪府民		地域包括支援センター・介護支援専門員・民生委員・地域活動をしている市民と連携し、市民の共助による住環境改善意識を促進する。
	大阪府下		
6	ワンポイントアドバイス冊子発行	H25 年 9 月以降 予定	東大阪市に所属する介護支援専門員を支援するために、住宅改修アドバイス集を作成する。500 部発行
			介護支援専門員が積極的に住宅改修等に関わり、適切な計画のもと、高齢者や障がい者が安全で安心した暮らしを実現する。

東大阪部会 平成 25 年度活動計画 (H25/7/1～H26/6/30)

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
場所			
1	定例部会(月1回開催)	H24年 7月～ 第3土曜	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー		チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、 高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する。
	ATC ふくてつく事務局他		

東大阪部会 平成 25 年度予算計画 (H25/7/1～H26/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅 改造費助成制度適正検証事業/	3,339,000	2,790,000	549,000
			諸謝金 2,500,000	
			旅費交通費 220,000 消耗品 70,000	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検 査事業	4,010,000	3,110,000	900,000
			諸謝金 2,740,000	
			旅費交通費 290,000 消耗品 80,000	
A-3	尼崎市介護保険住宅改修支援事業	300,000	550,000	△250,000
			諸謝金 440,000	
			旅費交通費 50,000 消耗品 60,000	
A-4	大阪府下自治体バリアフリー施策 実態調査	0	200,000	△200,000
			諸謝金 150,000	
			通信費 40,000 消耗品 10,000	
A-5	出前講座	0	300,000	△300,000
			諸謝金 250,000	
			旅費交通費 30,000 消耗品 20,000	
A-6	ワンポイントアドバイアス	0	150,000	△150,000
			諸謝金 80,000	
			旅費交通費 50,000 消耗品費 20,000	
合計		7,649,000	7,100,000	549,000 7.2%
			諸謝金 6,180,000	
			旅費交通費 620,000	
			消耗品 260,000 通信費 40,000	

6. こむねつと事業部会（中北会員）

こむねつとは、5年先を見据えて、ひたすら“新しいふくてっく”を模索し続けます。

こむねつと事業部 平成25年度事業計画（H25/7/1～H26/6/30）			
A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		期待する成果
■福祉サービス第三者評価事業			
A1-1	福祉サービス第三者評価	H25年9月～	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会 引き続き、大阪府の第三者評価事業振興に寄与 評価機関ふくてっくの評価機能向上を図る。 児童福祉分野（大阪府）の認証申請を行う。
	大阪府庁ほか		
A1-2	福祉サービス第三者評価	H25年9月～	奈良県てをつなぐ育成会 第三者評価 前回到引き続き（今回は奈良県の正式な取組として）事業所のサー ビス評価を実施する。前回の評価結果を踏まえて、法人とも協議の 上、テーマを絞り込んで、より踏み込んだ評価に取り組む。
	奈良県手をつなぐ育成会 やすらぎの丘・高取ワークス		
■SCPコンサルティング事業			
A2	SCP研究会	H25年9月～	サービス・コンティニュー・プランニング事業 まずは、研究会を発足させる。（事業化は数年先か？） 特定メンバー（外部を含む）による会費制組織とする。
	医療・福祉事業者 関西広域連合域		
■障害者住居環境改善の支援事業			
A3	障害者の住環境改善支援	H25年9月～	障害者支援団体あるいはその障害当事者が主体となって、障害その 他生き苦しさを有する市民の生活環境を整える活動を後方支援す る事業（あくまでも障害者が主役） 事業部門を発足する。 具体的には、様々な障害者支援機関に働きかけて、その「自立生活 支援事業」の重要な要素である生活環境整備にかかる相談支援機能 の一面を、当会が後方支援することによって、多様かつ広範囲にお よぶ地域生活障害者の自立を確立することに寄与する。あわせて、 そうした支援活動に取り組む障害当事者の就労機会を創設する。 特定メンバー（原則ふくてっく会員）によるチーム編成とする。 まずは、多くの関係先との連携を強化し、どのような取組が可能か を探る中、依頼を受けて具体の住宅改造も数件請け負う。
	複数の障害者支援機関		
	大阪・兵庫・奈良の各府県 およびその周辺地域		
■社会連携			
A4-1	社会連携①あべの地域連携	随時	阿倍野区内で活動する諸団体（企業まちづくり交流会）の連携 ※旧あべのAICHANの、拡大発展 地域に密着した新しい市民活動（企業を含む）の模索
	阿倍野区社協ほか諸団体 阿倍野区域		
A4-2	社会連携② 真友会	随時	サ高住併設地域サロンを基点とする医療・福祉連携 市民・企業・行政のセクションを超えた連携の樹立をめざす。 活動を通じて課題抽出を研究課題とする事業も模索。 具体の設計監理業務とは別枠で、部会の取組を実現する。
	淀川区社協ほか諸団体 淀川区域		
A4-3	社会連携③ 宅老連	毎月第3月曜	地域福祉をテーマとする多様な機関・個人の交流と連携 多方面の交流や有意義な研修を通じ、多様な視点（価値観）の導入と 協働できる社会資源を求める。 有意義な学習会情報を会員に紹介し、会員の知見拡大に寄与する。
	宅老連参加諸団体 概ね大阪府下		
A4-4	その他		大阪NPOセンター、福医建その他各団体・機関との交誼を温め、 新たな社会連携を模索する。

■新規開発事業

A5-1	福祉事業起業① プロジェクト立ち上げ支援 具体のプロジェクト対象 不特定 臨機に対応	随時	いくつかの候補事業を具体化する こむねっと事業部のプロデュース機能を発現する。 いずれも、具体の設計監理業務と併行して部会の取組を実現し、多くの会員の関わる機会を創出しつつ、新たなミッションを確立する。「できる事」の中に社会的意味を探すのではなく、「社会が必要とする事」に、「働く場」を見つける。あるいは「働ける自分」を開発することが肝要。 ①東大阪ばあとなあ：空き工場活用の障害者地域自立拠点 →平成 25 年度内の施設整備 ②青葉園新施設(地域共生ケア)構想 →平成 27 年春の開始目標
	福祉事業起業② 障害者福祉サービス機関	随時	既存建物活用型事業所指定手続き支援(「再活調査」) 既存建物の調査、安全改修計画並びに「申立書」作成等の業務を担い、健全な事業所開設に向けたコンサルティングを行う。

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数 場所		成果
B1-1	9月部会	9/14(土) PM1:30~	各事業の活動方針、体制、規約その他検討
	東大阪部会会場に同じ		25年度のこむねっと活動体制を固める 各事業のスタート
B1-2	10月部会	10/19(土) PM1:30~	ばあとなあ若江東計画 改装計画の実施設計報告。 本会の協働課題を抽出する。 ばあとなあの事業支援活動を起動
	東大阪部会会場に同じ		
B1-3	11月部会	11/16(土) PM1:30~	青葉園新施設構想 地域共生ケア推進課題(福祉事業所の地域での役割) 地域福祉拠点づくりにおけるハードとソフトの一体開発
	東大阪部会会場に同じ		
B1-4	12月部会	12/14(土) PM1:30~	ドキュメント作成技術 論文・報告書等、不特定者に対する意思伝達の工学的技術 文章作成に臨む要点の理解
	東大阪部会会場に同じ		
B1-5	1月部会	1/18(土) PM1:30~	福祉サービス第三者評価 ① 奈良県手をつなぐ育成会の評価決定会議 訪問調査メンバーに加えて多くの意見を吸収する
	東大阪部会会場に同じ		
B1-6	2月部会	2/15(土) PM1:30~	福祉サービス第三者評価 ② 社会的養護施設およびその他事業所における人権課題 障害者の自立とは何か? その現実と課題を学ぶ(講師招聘)
	東大阪部会会場に同じ		
B1-7	3月部会	3/15(土) PM1:30~	既存建物活用型福祉サービス事業所指定手続き支援 取り組んだ事例を概観して、それぞれの特性や行政対応の差異を理解。今後の取組の指針を検討し、技術を共有する。
	東大阪部会会場に同じ		
B1-8	4月部会	4/19(土) PM1:30~	淀川区における、サ高住併設地域サロンを基点とする共生拠点 これまでの取組を総括し、いよいよ拠点づくりにとりかかる。 部会としてどのような取組が可能かを検討する。
	東大阪部会会場に同じ		
B1-9	5月部会	5/17(土) PM1:30~	障害者の住環境改善 取り組んだ事例の検証を通じて、課題を洗い出す。 次年度以降の活動展開の方向を確認する。
	東大阪部会会場に同じ		
B 1-10	6月部会	6/21(土) PM1:30~	25年度活動の集約と次年度活動構想 経過年度の活動を総括(活動報告・収支決算)し、成果を検証。 次年度に向けて課題・方針を協議、決定する。
	東大阪部会会場に同じ		

※各事業に関する会合は、担当メンバーにより随時に行い、部会(毎月第3土曜午後)は総合的なテーマで実施します。
なお、上記の予定は、活動状況の推移にあわせて適宜に変更することがあります。

こむねつと事業部会 平成25年度予算計画 (H25/7/1~H26/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	収支差額		
A-1-1	福祉サービス第三者評価事業	¥0	¥45,000	-45,000		
			評価調査者研修費 30,000	旅費交通費 5,000	雑費(印刷等) 10,000	
A-1-2	福祉サービス第三者評価事業 (奈良県手をつなぐ育成会)	¥420,000	¥370,000	60,000		
			謝金(評価活動) 269,400	同上源泉税 30,600	旅費・交通費 10,000	雑費(印刷費等) 60,000
A-2	SCP研究会 (有料会費) 個人会員 5,000×5 企業会員 10,000×3 通信会員 3,000×5	¥70,000	¥ 63,000	7,000		
			謝金 36,000	同上源泉税 4,000	旅費・交通費 3,000	雑費(印刷費等) 20,000
A-3	障害者の住環境改善支援 相談支援 2案件	¥400,000	¥335,000	65,000		
			謝金(活動費) 320,000	旅費・交通費 5,000	雑費 10,000	
A-4-1	阿倍野地域連携	¥0	¥0	0		
A-4-2	真友会(淀川区地域連携)	¥0	¥0	0		
A-4-3	宅老連	¥0	年会費 ¥10,000	-10,000		
A-5-1①	ぱあとなあ若江東PJ.	¥500,000	¥460,000	40,000		
			謝金(活動費) 360,000	同上源泉税 40,000	旅費・交通費 10,000	雑費 50,000
A-5-1②	青葉園新施設構想	¥500,000	¥460,000	40,000		
			謝金(活動費) 360,000	同上源泉税 40,000	旅費・交通費 10,000	雑費 50,000
A-5-2	再活調査 既存建物活用型 福祉事業所開設支援	¥300,000	¥230,000	70,000		
			謝金(活動費) 180,000	同上源泉税 20,000	旅費・交通費 6,000	雑費 24,000
B-1	こむねつと事業部会総務	¥0	¥185,500	-185,500		
			事務局運営費 60,000	通信運搬費 500	会議費 12,000	講師謝金 40,000
合計		¥2,190,000	¥2,158,500	31,500		

今季より、福祉サービス第三者評価事業部門については収支の黒字化を目指して料金規定を改定し、活動メンバーの活動費配分基準も上方改訂します。

そのため、評価調査者の技術向上と評価活動の合理化が避けられません。

既存建物を活用する福祉サービス事業所開設に際する

建物安全性確認調査報告業務取組規定

(事業名称)

第1条 この事業名称を「既存建物再活用調査報告業務（略称「再活調査」）」とする。

(事務局)

第2条 再活調査に係る受注事務、活動メンバー調整その他の諸事を司る事務局を次の通り特定非営利活動法人ふくてっく、こむねっと事業部事務局におく。

〒545-0031 大阪市阿倍野区橋本町2番30号 BASE88
株式会社中北建築事務所気付
連絡先 Tel06-6652-6287 Fax06-6652-6286

(目的)

第3条 福祉施策およびサービスが、高齢者福祉・障害者福祉等の境界を払拭して、従来の大規模・単一施設処遇から地域密着型のインクルーシヴ社会概念に移行しつつあるなか、特に都市部においては新たな施設建設は難しく、そうしたサービス拠点の小規模化と既存建物活用の流れが急速に拡大している。

その場合に、活用すべき建物の関係諸法令の遵守状況や保全の不完全性、そしてそれらに伴う利用者の安全性確保の問題が浮上している。

実際、既存建物であって、築後相当の年月が経過しているものには、建築関係諸法についての不適格性が多々見られることが多く、慎重な調査を省いて軽々に活用することは、利用者の安全を大きく損なうことは勿論、最悪のケースでは事業所指定の不認可・取り消しなど、当該事業所の運営や法人存続にも深刻なリスクを発生することになる。

そこで本事業は、そのような背景に鑑み、福祉サービス提供拠点に再活用しようとする建物の全般的な調査を、一級建築士を中心とする各種専門職の協働により、その技術と見識に亘る総合力を発揮して担おうとするものである。

これによって、福祉サービス提供法人（者）が拙速に誤った社会資源活用に陥ることなく、また活用可能な資源利用を安易に断念することなく、健全な事業運営を実現できるよう支援することを通じて地域福祉の発展とまちづくりの推進に寄与することを目的とする。

(事業内容)

第4条 再活調査業務は、案件ごとに必要に応じて以下の業務を行う。

- 1) 対象建物に関する履歴（建築確認および検査、防火対象物使用開始届等その他）の事実調査
- 2) 建築基準法、消防法および活用対象事業にかかる施設設置基準等に照らしたハード面の健全性確認と課題抽出調査
- 3) 構造安全性に関する調査・各種試験
- 4) 前2項に関する課題打開策の検討と提案
- 5) CADによる建築図面作成
- 6) 福祉サービス事業所指定手続きに必要な「申立書」その他書式の作成
- 7) 上記に関連して必要となる業務の一切

(活動メンバー)

第5条 再活調査業務に携わる者は、原則として、特定非営利活動法人ふくてっく正会員であって、本活動に参加を希望する者の中から、前条に掲げる業務を担う資質を備えると、事務局が認めた者とする。

一級建築士であることが望ましいが、チーム活動における個々の専門性に鑑み、必ずしも拘らない。

(協力メンバー・研修メンバー等)

第5条の2 業務の遂行に際して、その専門性その他の事情に応じて、業務の一部を前条の活動メンバー以外の者（機関）に委託することができる。

また、ふくてっく正会員のうち、当面は活動メンバーに参加しないが、本規定の趣旨を遵守して調査業務に同行・補助し、活動内容を見聞した上で将来の活動参加を検討しようとする者には、柔軟に参加機会を設ける。

(メンバー登録)

第6条 第5条および第5条の2後段の参加を希望する者は、随時事務局にその意思を表明し、事務局は活動参加に支障がない場合、これを登録する。

(会費)

第7条 登録メンバーからの会費は徴収しない。

(登録の抹消)

第8条 登録メンバーが次の各号のいずれかに該当する場合は、活動グループから離脱し登録を抹消する。ただし、第④号から第⑥号の場合は、そのメンバーに事前に弁明の機会を与えた上で、事務局は複数メンバーによる審議の上決済する。

- ① 本人が死亡したとき
- ② 本人が特定非営利活動法人ふくてっくの正会員でなくなったとき
- ③ 本人が活動離脱の意思を申し出たとき
- ④ この規約または規則に違反したとき
- ⑤ 本事業活動グループの秩序を著しく害し、または公序良俗に反する行為をしたとき
- ⑥ 本事業の目的に反する行為をしたとき

(世話役)

第9条 本事業を遂行するために、登録メンバーの互選により世話役を1名おき、世話役は事務局を統括する。世話役の任期は2年とし、重任を妨げない。

(世話役の解任)

第10条 世話役が次の各号に該当するときは、世話役に弁明の機会を与えた上で、世話役を除く登録メンバーの過半の決議に基づいて、これを解任することができる。

- ① 心身の故障のため職務の執行に堪えられないことが認められるとき
- ② 職務上の義務違反が認められるとき
- ③ その他、世話役として相応しくない言動があると認められるとき

(世話役の報酬)

第11条 世話役は、本人の本業務に係る調査活動等の直接的な活動に対するものを除き、無報酬とする。
ただし、世話役としての役務執行に必要な費用の実費は、これを弁償する。

(活動メンバーの権利)

第12条 登録メンバーは以下の権利を有する。

- ① チームが受注した再活調査業務について、事務局の調整に基づき活動参加することができる。
- ② チームが実施する再活調査業務に関して、判定の合議に参加して意見を述べることができる。
- ③ チームが実施した再活調査業務に関する技術と情報を共有することができる。
- ④ 再活調査業務に従事することについて、内規に定める規定に準じて、その対価を得、併せて必要経費の弁償をうけることができる。

2 前条の規定は、協力メンバーおよび研修メンバーについても準用する。

(活動メンバーの義務・責任)

第13条 登録メンバーは以下の義務・責任を負う

- ① チームが受託した再活調査業務について、事務局の調整に基づき、合理的な理由がある場合を除き活動参加の義務を負う。
- ② 前号活動参加の有無にかかわらず、調査結果の評価及び再活用可否判断、改善提案内容等の合議に可能なかぎり参加し、チームの合議判断についてはその社会的影響について合議参加の有無を問わず共同責任を負う。
- ③ 類似業務をチーム協働によらず単独で実施する場合は、事前にその旨事務局に申し出て、協働グループから離脱する。この場合には、以降の活動を自己責任において行い、本グループとまぎわらしい呼称を使用しないことを誓約する。
- ④ 本業務に関して知り得た情報を他に漏らしてはいけない。
また、事務局に無断で登録メンバー外の建築士その他専門職の相談に応じて、類似業務の遂行に資する技術や情報の提供を安易に行う事は慎まなければならない。

2 前条の規定は、②の規定を除き、協力メンバーおよび研修メンバーについても準用する。

(活動報告)

第14条 世話役は、ふくてっく運営会議・理事会および総会において、本事業の経過報告を行う。

(本会による統括)

第15条 本事業は、特定非営利活動法人ふくてっくの「こむねっと事業部」の事業活動の一翼に位置付けられるので、本規約に明示のない事項はふくてっく本会の定款、およびこむねっと事業業務規約に準じ、収支決算をふくむ活動運営の一切は本会の統括化にあるものとする。

料金規定

(平成25年版)

再活調査業務の料金規定を以下のとおり定める。

	業務内容	対象建物規模		
		概ね 100 m ² 未満	概ね 100～300 m ² 未満	300 m ² 超
基本料金	行政調査・現地調査全般 法令チェック ～調査報告書作成	25,000 円	30,000 円	35,000 円～ (規模により協議)
構造診断	検査済証がない場合等の 略式耐震診断および 補強提案 (簡易)	30,000 円	35,000 円	別途見積もり
躯体精密調査	コア抜き試験その他	別途見積もり		
補強構造設計	詳細な構造計算	別途見積もり		
CAD 図面作成	適切な図面保存がない 場合	20,000 円	25,000 円	別途見積もり
申請業務	用途変更の確認申請	50,000 円～ (別途に都度協議)		
特別加算	確認申請もない場合	50,000～100,000 円 (ただし事業指定の成功保障なし)		
その他経費	活動交通費	実費精算		
事務経費	消耗備品・統括事務費	活動経費総額の 10～15%		

※物件内容や同時調査等々の条件により別途見積もり対応します

内規 (活動費用配分規定)

(平成25年版)

現地・行政調査	チーフ	アシスト	研修参加
	半日 10,000 円	8,000 円	2000 円
	1日 15,000 円	12,000 円	3000 円

現地調査に基づく CAD 図面作成 規模等により 10,000 円～30,000 円

構造診断 (現地調査～診断書作成まで) 規模により 30,000 円～ 都度協議
耐震設計をする場合は都度協議

用途変更の確認申請、その他特別加算 都度協議 (1日当たり 15,000 円見当)

外部委託費用は、都度見積もり協議による。

7. 20周年記念事業委員会（清水会員）

ふくてっく発足 20 周年記念事業検討委員会			
平成 25 年度事業計画（H25/7/1～H26/6/30）			
A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
1	ふくてっく発足 20 周年記念事業準備	H25 年 7/1～ H26 年 6/30	20 周年記念事業実施に向けて、資料作成等をおこなう。
2	ふくてっく発足 20 周年記念事業	H25 年 7/1～ H26 年 6/30	社会貢献事業を実施する。

ふくてっく発足 20 周年記念事業検討委員会				
平成 25 年度予算計画（H25/7/1～H26/6/30）				
	事業名	収入	支出	余剰金
A-1	ふくてっく発足 20 周年記念事業準備	0	人件費 通信交通費 消耗品等	100,000 △100,000
A-2	ふくてっく発足 20 周年記念事業	0	人件費 通信交通費 会場費	70,000 80,000 50,000 △200,000
	合計	0		300,000 △300,000

理事長まとめ

25年度は何と言っても「20周年記念年」ですから、この一年はこれまでを振り返り、良い意味で初心に帰る、いい機会かと思われます。

昔が全て良いわけではないが、時代も変わり会員も随分と歳を重ねてしまいました。しかし、当初持ち合わせた気持ちだけは老いる事無く若々しく、新しい事に挑戦しながら進歩していければと思っています。

5号議案 平成25年度 予算計画

※平成25年度予算書は、とりあえず24年度部会体制のままで表記しています。

25年度予算計画			
	24年度予算	24年度決算額	25年度予算額
1	【計上収入の部】		
2	400,500	383,000	384,000
3	会費収入		
4	390,000	380,000	380,000
5	2,500	1,000	1,000
6	3,000		
7	5,000	2,000	3,000
8	事業費収入		
9	9,417,000	7,278,450	9,876,000
10	木工部		
11	43,000	35,000	25,000
12	研修部		
13	25,000	1,500	12,000
14	住環境研究部		
15	100,000	-	-
16	こむねっと事業部		
17	1,600,000	649,500	2,190,000
18	福祉サービス第三者評価		
19		472,500	420,000
20	建物定期検査報告		
21		177,000	-
22	SCP研究会		
23			70,000
24	障害者住環境改善		
25			400,000
26	その他事業		
27			1,300,000
28	東大阪部		
29	7,649,000	6,592,450	7,649,000
30	共通		
31		550	-
32	改造助成		
33		3,444,000	3,339,000
34	介護住改		
35		2,841,300	4,010,000
36	尼崎市		
37		306,600	300,000
38	寄付金収入		
39	-	40,000	-
40	受取利息		
41		250	250
42	雑収入		
43	30,000	31,754	-
44	経常収支の合計		
45	9,847,500	7,733,454	10,260,250
46	【経常支出の部】		
47	事業費		
48	9,030,398	6,181,943	9,571,500
49	給与手当		
50	-	18,900	197,500
51	木工部		
52	-	18,900	27,500
53	20周年記念事業		
54			170,000
55	材料費 (木工部)		
56	46,300	5,529	5,000
57	諸謝金・業務委託費		
58	7,535,188	5,284,920	7,949,000
59	研修		
60		1,000	9,000
61	こむねっと		
62		454,920	1,760,000
63	東大阪		
64		4,829,000	6,180,000
65	地代家賃 (木工倉庫)		
66	33,910	16,955	-
67	印刷製本費		
68	115,000	3,180	-
69	こむねっと		
70		-	-
71	東大阪		
72		3,180	-
73	通信運搬費		
74	51,000	3,350	1,000
75	木工		
76		350	500
77	こむねっと		
78		160	500
79	東大阪		
80		2,840	-
81	消耗品費		
82	280,000	176,655	330,000
83	こむねっと		
84		-	70,000
85	東大阪		
86		176,655	260,000
87	旅費交通費		
88	725,000	457,915	756,000
89	木工		
90		7,000	7,000
91	こむねっと		
92		-	49,000
93	東大阪		
94		450,915	620,000
95	20周年記念事業		
96			80,000
97	会議費(会場費)		
98	15,000	12,600	62,000
99	こむねっと		
100		9,400	12,000
101	東大阪		
102		3,200	-
103	20周年記念事業		
104			50,000
105	租税公課		
106	1,200	4,000	4,000
107	こむねっと		
108		-	-
109	東大阪		
110		4,000	4,000
111	諸会費		
112	25,000	10,000	10,000
113	こむねっと		
114		10,000	10,000
115	研修費		
116	134,000	87,400	30,000
117	こむねっと		
118		87,400	30,000
119	支払手数料		
120	3,800	16,904	3,000
121	こむねっと		
122		2,205	3,000
123	東大阪		
124		14,699	-
125	雑費		
126	65,000	83,635	224,000
127	こむねっと		
128		72,000	224,000
129	東大阪		
130		11,635	-

会員は一貫して減少傾向

24年度は本部会計

24年度で終了
25年度新規事業
25年度新規事業
25年度新規事業

24年度は備品販売収入
25年度は契約額
25年度は契約額
25年度は契約額

宅老連年会費

69	管理費	910,200	900,736	952,980	
70	給与手当	129,600	115,200	120,000	
71	諸謝金	--	66,718	66,718	学習会外部講師
72	地代家賃	400,800	400,812	400,812	ATC
73	印刷製本費	28,500	2,845	3,000	
74	通信運搬費	58,500	55,065	60,000	
75	消耗品費	15,000	11,813	52,000	会計ソフト更新含む
76	旅費交通費	34,000	32,840	35,000	
77	会議費	56,100	55,310	55,500	
78	保険料	39,200	39,200	40,000	
79	租税公課	70,000	70,950	70,950	
80	諸会費	--	15,000	10,000	NPOセンター会費
81	支払手数料	32,000	30,709	35,000	
82	減価償却費	4,300	4,274	4,000	
83	交際費	10,000	--	--	
84	雑費	32,200	--	--	
85	経常支出の計	9,940,598	7,082,679	10,524,480	
86	経常収支差額	-93,098	650,775	-264,230	
87	【その他資金収入の部】		--	--	
88	【その他資金支出の部】		--	--	
89	当期収支差額	-93,098	650,775	-264,230	
90	前期繰越	4,908,998	4,908,998	5,559,773	
91	次期繰り越し	4,815,900	5,559,773	5,295,543	

東大阪部会活動のうち介護住改の適正検証事業の達成が契約内容に比して減少し併せて部会の自主事業が未消化に終わったため収益、支出(特に支出)が予算計画を下回った結果、収支差額がプラスに転じた。25年度も上記に類する傾向が予測される。

支出項目には20周年記念事業予算30万円を見込んでおり収支差額予測¥263,230のマイナスは了とできる。記念事業計画の社会貢献事業の具体化に伴って、必要な補正予算編成が必要となる。

6号議案 役員改選の件

経過報告と理事会提案

(小川理事長)

出席会員からの提議・審議

表決

閉会